

CO₂をへらすていたんそしゃかい
低炭素社会

このページでは CO₂ などの温室効果ガスの排出をへらす低炭素社会のすがたと、その社会をつくるために商社が取り組んでいる活動を学びます。

ていたんそしゃかい
低炭素社会を歩く

商社の取り組み

低炭素社会を実現(じつげん)するために

○ グリーン物流^{ぶつりゅう}／カーシェアリング

CO₂は、[地球温暖化](#)(おんだんか)の原因の一つです。日本で出ているCO₂の約20%※は、自動車、鉄道、船、飛行機などの乗り物の排気(はいき)ガスによるものです。その中でも、自動車の排気ガスにふくまれるCO₂は、乗り物全体の90%※にもなり、業務(ぎょうむ)用の自動車と自家用車が半分ずつ出しています。商社は、これらのCO₂をへらすために、「[グリーン物流](#)(ぶつりゅう)」や「[カーシェアリング](#)」などの事業(じぎょう)に取り組んでいます。

※出典:温室効果ガスインベントリオフィス

▶[グリーン物流\(ぶつりゅう\)](#)▶[カーシェアリング](#)

グリーン物流(ぶつりゅう)

地球環境にやさしい「グリーン物流(ぶつりゅう)」って?

企業(きぎょう)が物を運ぶときに、CO₂をできるだけ出さないようにする輸送(ゆそう)方法です。CO₂の排出(はいしゅつ)が少ない船や鉄道を使用する、複数の企業が共有して同じトラックで物を運ぶ、ハイブリッド車や[天然ガス](#)自動車など環境性能(せいのも)にすぐれた[低公害車](#)(ていこうがいしゃ)を使用するなど、さまざまな方法があります。

ムダがないよう、近道えらびも大切

[グリーン物流](#)(ぶつりゅう)では、出発地と目的地の距離(きょり)をできるだけ短くし、使用する燃料(ねんりょう)を節約(せつやく)することも大切です。そのほかドライバーの運転を記録(きろく)して安全でムダのない運転をしているかを確認(かくにん)したり、信号待ちのときにエンジンを止めるアイドリングストップなどの[省エネ](#)・安全運転の指導(しどう)も行います。

商社が行っている「グリーン物流(ぶつりゅう)」

世界各国と日本との間で、さまざまな物の輸送(ゆそう)に関わっている商社は、CO₂をできるだけ出さない[グリーン物流](#)(ぶつりゅう)に、積極的(せつきよくてき)に取り組んでいます。たとえば、中国でつくった商品を日本に輸入(ゆにゅう)して各地に販売する事業(じぎょう)において、これまでは商品を飛行機で日本へ運び、到着(とうちやく)した空港で目的地別に分け、各地のお店へトラックで長距離輸送(ちようきょりゆそう)していたため、ガソリンをたくさん消費(しょうひ)し、排気(はいき)ガスもたくさん出していました。そこで、飛行機からCO₂排出(はいしゅつ)の少ない船に変えて、さらに先に海外で商品を分けておき、それぞれの目的地に近い港まで船で運んでから、トラックで運ぶ方法にしました。その結果、約30%もCO₂をへらすことに成功しました。

■これまでの輸送(ゆそう)方法とグリーン物流(ぶつりゅう)



カーシェアリング

1台のクルマをみんなで仲よく使う

カーシェアリングとは、自動車を複数の人が共同で使用する、新しい自動車の所有(しよゆう)方法です。自動車が空いていれば、使いたい日に使いたい時間だけ自動車を利用することができます。

クルマがへって排気(はいき)ガスの少ない社会に

バスや電車などの公共交通機関(こうきょうこうつうきかん)を利用するのと同じように、カーシェアリングが広がると自動車の全体の台数がへるため、排気ガスが少なくなり、その結果CO₂をへらすことにつながります。

■自動車の所有(しよゆう)とカーシェアリングの違い

	所有	カーシェアリング
所有者	ユーザー本人	カーシェアリング運営会社
車両保管場所	ユーザー本人が確保	街中、駅前などの駐車場
利用料金	—	つきかいひ、りょうりょうきん、ひつよう 月会費や利用料金が必要
メンテナンス	ユーザー本人の責任で行う	カーシェアリング運営会社が実施
カソリン代	ユーザーが負担する	不要(利用料金に含まれる)
税金・保険料	ユーザーが負担する	不要(利用料金に含まれる)
廃車時	買い壊れてつぶさ、はいしゃてつぶさ 売却手続、廃車手続などが必要	カーシェアリング運営会社が実施

(クリックで大きくなります)

■カーシェアリングの利点



(クリックで大きくなります)

商社が行っている「カーシェアリング」

商社は、近い将来、自動車を所有(しよゆう)するのではなく、みんなで共有するサービスを求める人が増えてくると予測(よそく)しています。そこで、誰もが好きなときに好きな時間だけ自動車を利用できる[カーシェアリング](#)サービスを開始し、その普及(ふきゆう)に取り組んでいます。

現在行っているサービスでは、携帯電話(けいたいでんわ)やパソコンを使って予約するだけで、あとは自動車のある場所へ行き、自分でカギを開けて自動車を利用することができます。使用する自動車には、[CO₂](#)の排出(はいしゅつ)が少ない、[ハイブリッドカー](#)や[電気自動車](#)も用いています。

商社は、この[カーシェアリング](#)サービスを広めていくことで、自動車が出す[CO₂](#)の半分を占めている、自家用自動車による[CO₂](#)削減(さくげん)につなげていきたいと考えています。



自動車は運営会社が管理



整備は専門のスタッフが行う

▲ページの先頭へ